

当グループでは、防災訓練を「緊急対応マニュアルなどの理解度を試すテスト」と位置づけ、理解が十分でない職員には、再講習等があり得ることを周知し、訓練のマンネリ化を防止します。

また、職員研修として、毎年1回、緊急対応マニュアル研修およびAEDの使い方講習を実施します。当グループ職員の多くは、AEDの使用方法講習を習得していますが、いざという時にAEDを使いこなすためには、定期的に講習受講することが望ましいと考えており、毎年、受講の機会を設けます。

なお、AEDの使い方講習は、職員だけではなく、受講を希望する市民のみなさんにも定員の範囲内で開放します。

b) 緊急時にAEDを確実に使用するための工夫

緊急時にAEDを使いこなすことは、決して簡単ではありません。1回の講習を受講するだけでは、AEDの使い方などを忘れてしまう可能性もあるため、当グループでは、「緊急時の心肺蘇生法・AEDの使い方」という冊子を作成し、空いた時間で適宜、読むように職員に求めることで、知識の定着を図り、「いざという場合」の備えを手厚くしています。



加えて、どんなに知識の定着を図っても、いざという場合に「頭の中が真っ白」になってしまうリスクをゼロにはできません。当グループでは、万一、このような事態になったとしても、冷静で適切な対応ができるように、AEDの使い方などをコンパクトに記載したカードを作成しています。

このカードは、折りたたむと名刺サイズになり、名札ケースに入れて常に携帯することが出来ます。このため、万一の場合も、直ちに取り出して読めることから、冷静で適切な対応ができないというリスクを軽減することが出来ます。



⑤ その他、危機管理や利用者の安全確保に関する措置を行います。

a) 原因究明および再発防止策の検討・実施、危機管理対応の検証

災害や事故発生の緊急対応が終了した後は、危機管理本部において、原因究明、再発防止策の検討、危機管理対応が適切であったかどうかの検証などを行います。

これらについては、必要に応じて、関係機関や専門家などにもご参加いただきます。また、検討結果については、速やかに公表するとともに、再発防止策などを迅速に実施します。

b) 利用者の一層の安全確保を図る措置の実施

利用者の一層の安全を図る措置として、当グループの費用負担により、伏古公園にAED、丘珠空港緑地パークゴルフ場にAED及び熱中症防止のためのドライミストを設置していますが、これらに加え、以下の措置を講じます。

■イベント開催時や猛暑日等には、丘珠空港緑地の緑地側にもドライミストを設置します。

■伏古公園、丘珠空港緑地の管理事務所に熱中症指標計を設置し、リスクが高まった場合には、利用者に対し、水分補給などの注意喚起を行います。

■雷検知器を設置します。周辺部 50～60Km で発生した雷を検知しますので、検知された場合には、利用者に自動車の中などの安全な場所への避難を呼びかけます。(右の新聞記事は大阪市内の指定管理者制度が導入されている公園で発生した落雷事故：毎日新聞より引用)



c) 全国各地の指定管理者との災害応援協定の締結

東日本大震災や熊本地震では、指定管理者制度が導入されている施設にも、多くの住民の避難がありましたが、職員も被災する中で、指定管理者の多くが、十分な対応を行う人員や資金の余裕がありませんでした。

このような状況を少しでも緩和するため、当グループの代表企業であるマルミプラスは、令和3年3月に、以下の全国各地の指定管理者と、大規模災害発生時にお互いに協力する協定を締結しました。(右図は、災害防止協定の最後のページの押印部分)

この協定では、大規模災害が発生し、住民が避難している施設に対し、協定に参画する全国各地の他施設から、応援の人員を派遣すること、支援物資の提供すること、被災した施設に寄付することを目的に募金を行うことを定めています。

この協定は、マルミプラスが管理運営するすべての指定管理施設に適用されることから、当公園でも大規模災害発生時には、全国からの応援により、被災者対応ができる体制を構築しています。



【マルミプラスが災害応援協定を締結した全国の指定管理者】

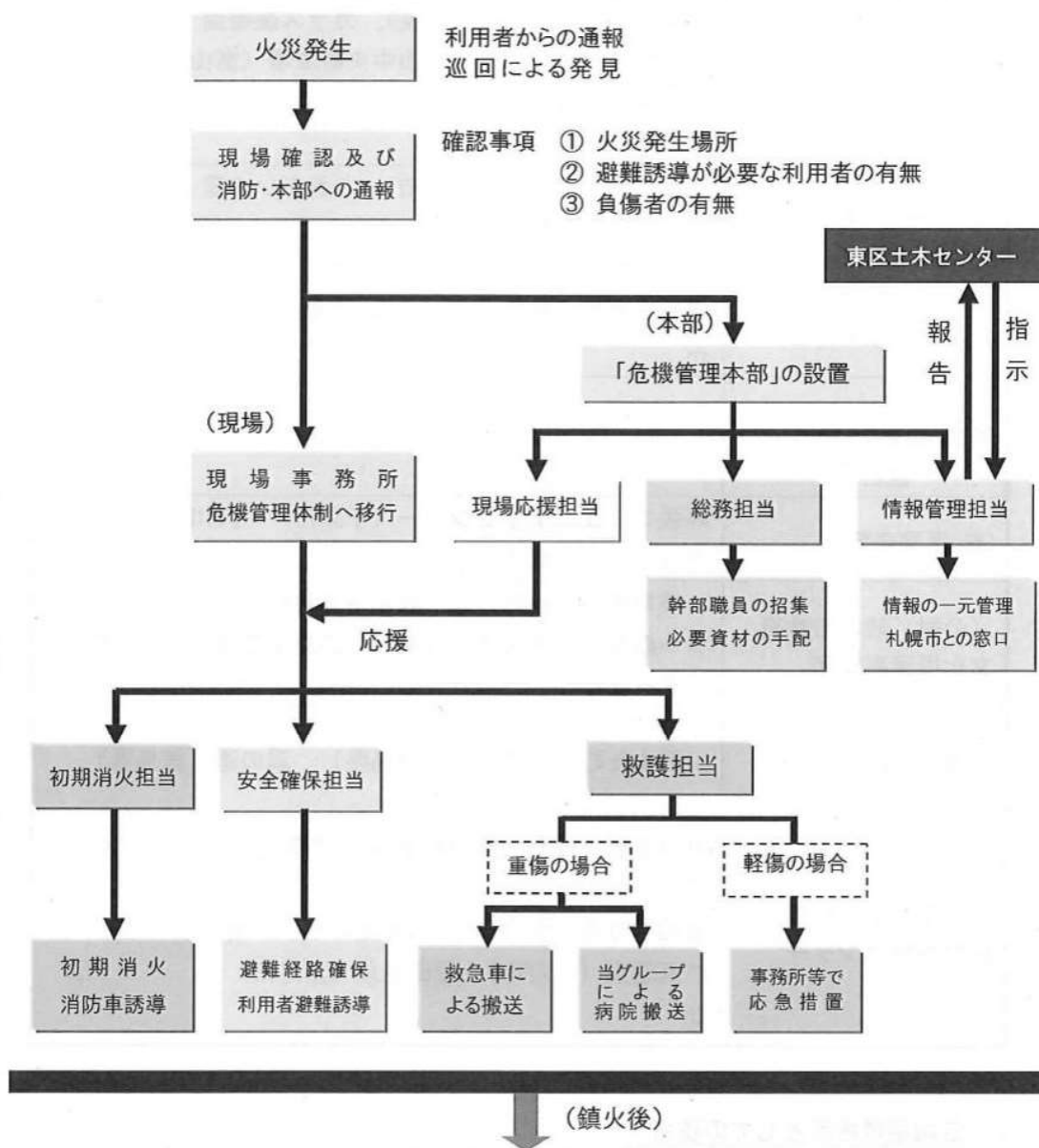
法人名	管理運営している主な公の施設（自治体名）
(株)ホクタテ	岩瀬スポーツ公園（富山県）、ガラス美術館（富山市） 県営富山駐車場・県営富山中央駐車場（富山県）、 市営住宅（高岡市・射水市）井波総合文化センター（南砺市）ほか
旭ビル管理(株)	伯耆しあわせの郷（倉吉市）、ふれあいの里（米子市） 米子市文化活動館
(公財)和歌山県 スポーツ振興財団	ビッグ愛（和歌山県）、ビッグホエール（和歌山県） 県立体育館（和歌山県）、河西緩衝緑地（和歌山県）ほか
香川県森林組合 連合会	さぬき空港公園（香川県）
(株)京葉美装	幕張コミュニティセンター（千葉市） 穴川コミュニティ センター（千葉市稲毛区）
(公財)岐阜市教育 文化振興事業団	岐阜市少年自然の家 岐阜市体育館 ドリームシア ター岐阜 岐阜市青少年会館 岐阜市生涯学習・女性セ ンターほか
(株)ネオビエント	あすたむらんど徳島（徳島県） 渦の道（徳島県）
(一財)別府市 総合振興センター	野口原総合運動公園（別府市）、市営温水プール（別府 市） 実相寺球場（別府市）、志高湖キャンプ場（別府市） 竹瓦温泉（別府市）、堀田温泉（別府市） ほか

d) 広域避難場所としての使命

当公園は札幌市の広域避難場所に指定されています。当グループでは、本部や管理事務所内に飲料水、毛布、ブルーシート、救急箱、伸縮担架等、携帯電話用手回し充電器（右の写真）を常備し、緊急時には、住民の方に無償提供（貸与）します。

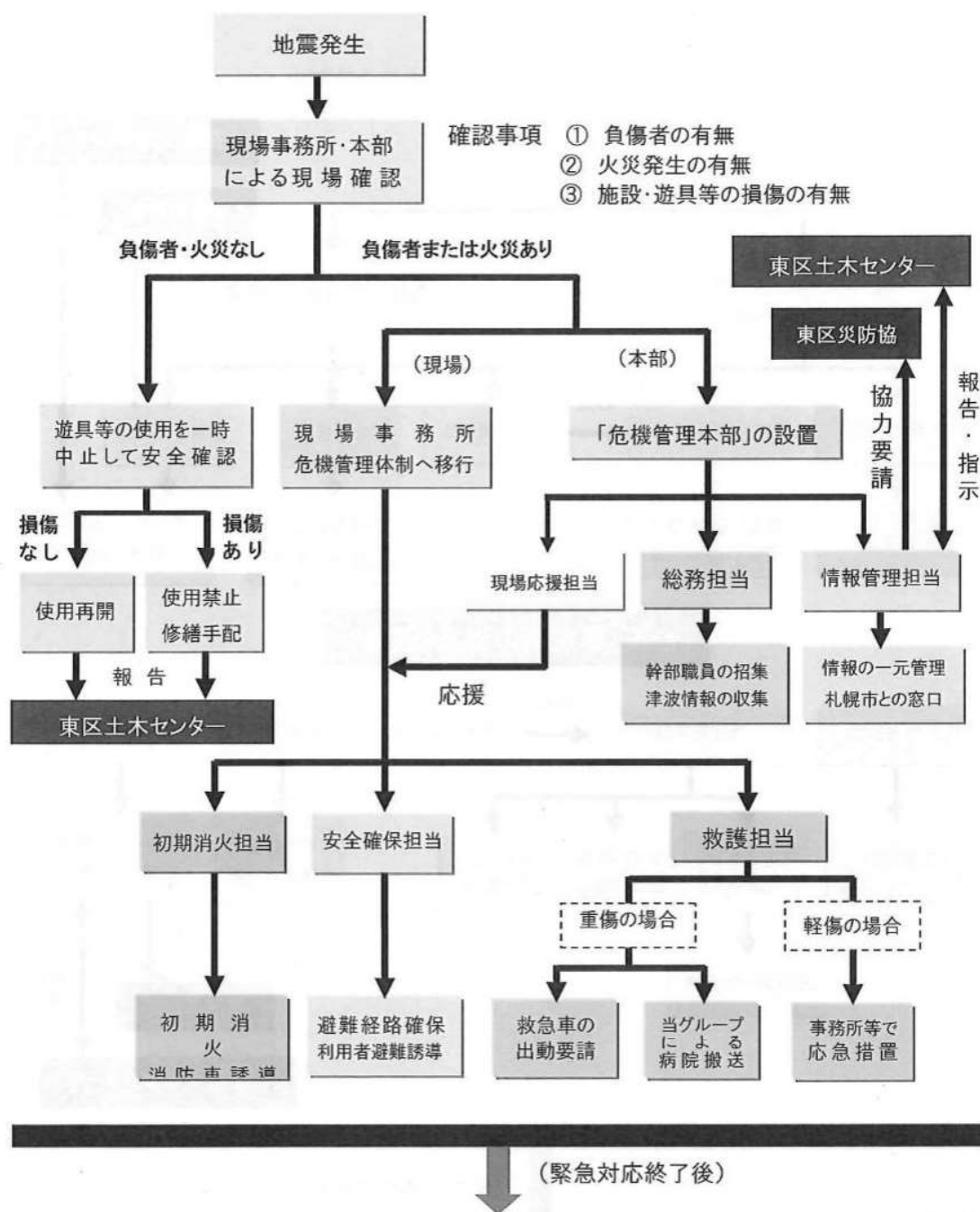


火災発生時の対応



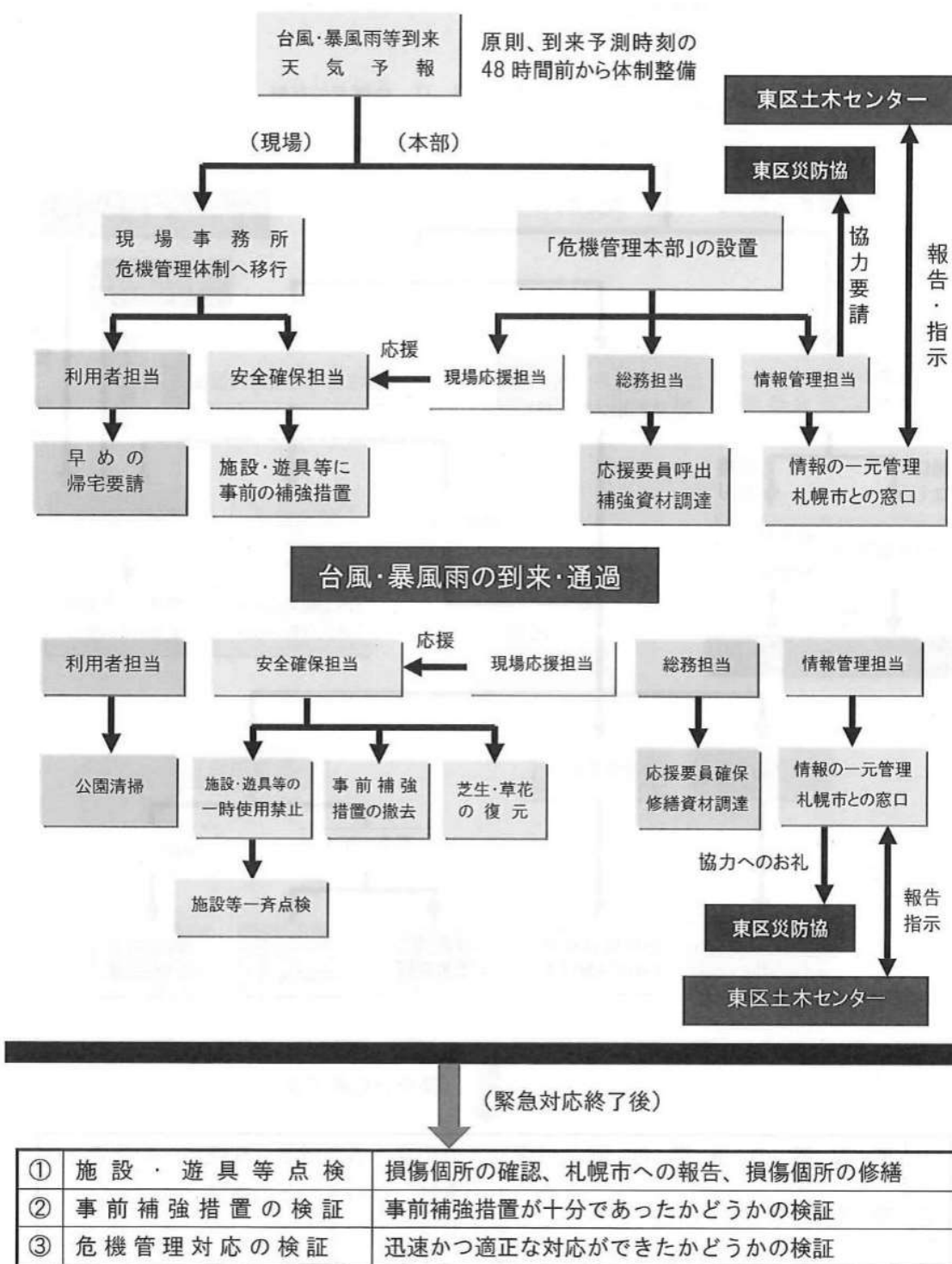
①	現 場 検 証	警察・消防への協力
②	施 設 の 損 傷 確 認	損傷個所の確認、札幌市への報告、損傷個所の修繕 利用者の所有物(自動車等)の被害確認
③	負 傷 者 へ の お 見 舞 い	幹部職員が速やかに病院等へ訪問
④	原因及び再発防止策の検討	外部専門家や行政担当者を交えた「再発防止委員会」で 検討
⑤	危機管理対応の検証	迅速かつ適正な対応ができたかどうかの検証

地震発生時の対応（震度 4 以上）

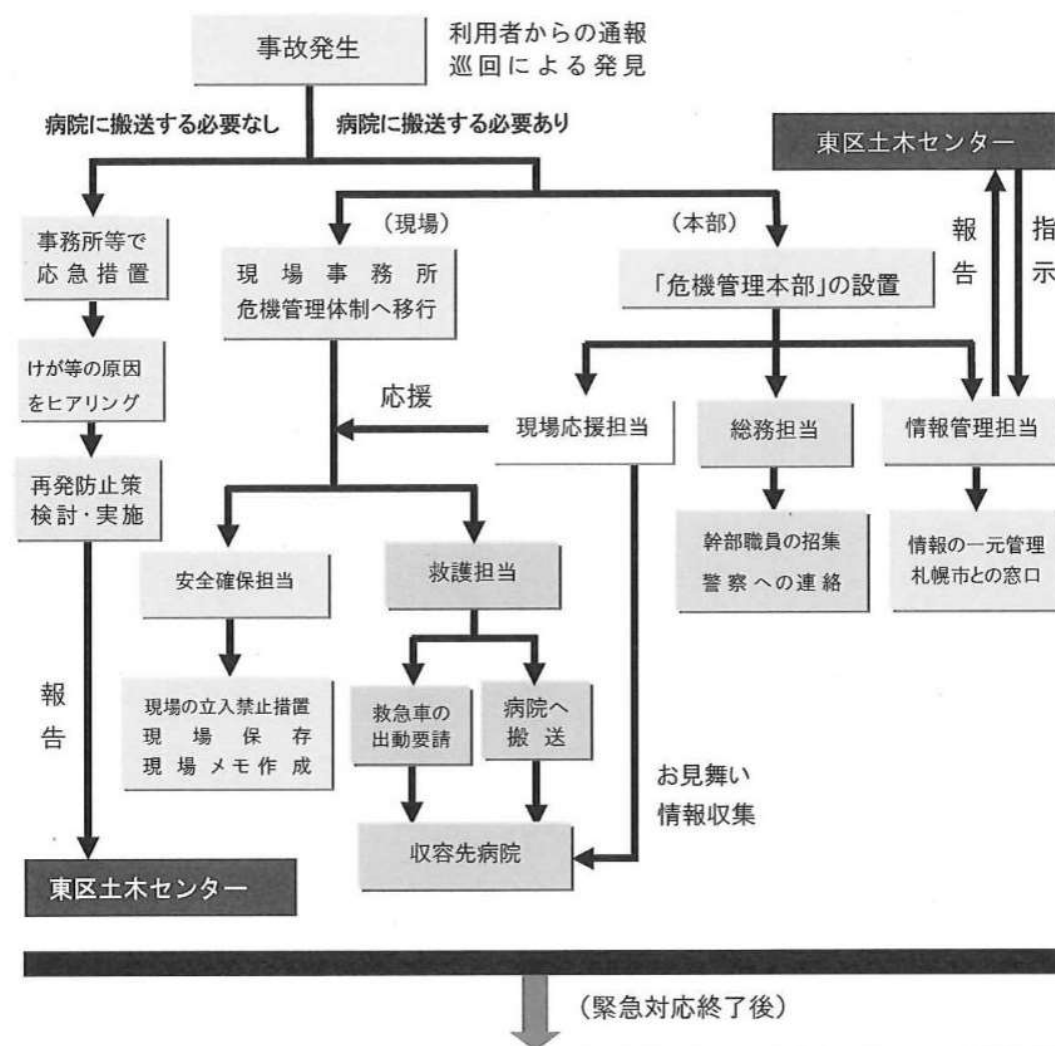


①	施設等の損傷確認	損傷個所の確認、応急措置、札幌市への報告
②	被災者受け入れ準備	テント、食料、飲料水などの準備 被災者のお世話をするスタッフの派遣
③	負傷者へのお見舞い	幹部職員が速やかに病院等へ訪問
④	危機管理対応の検証	迅速かつ適正な対応ができたかどうかの検証

台風・暴風雨到来時の対応（風速 20m/秒 以上）



事故発生時の対応



①	現場検証	警察への協力、東区土木センターにも立ち会いを要請
②	負傷者へのお見舞い	幹部職員が速やかに病院等へ訪問
③	目撃者等からの情報収集	目撃者等に訪問・電話等で情報収集
④	原因及び再発防止策の検討	外部専門家や行政担当者を交えた「再発防止委員会」で検討
⑤	危機管理対応の検証	迅速かつ適正な対応ができたかどうかの検証

4. 事業の計画及び実施に関する業務の実施内容

仕様書に示す各事業（取組）の基本的な実施方針、業務の実施手法の概要を示してください。特に、実施手法に関しては、目標を実現するための工夫などを積極的にアピールしてください。

(1) 都市公園の利用促進に関する取組と実施計画

公園の利用促進を図るための4つの方策

- ① 広報・営業活動を充実します。
- ② 利便性・サービスの向上を図ります。
- ③ イベント等の充実を図ります。
- ④ 市民との協働による利用促進を行います。

① 広報・営業活動を充実します。

a) ホームページによる情報発信

当グループでは、当公園ホームページを開設し、施設概要、アクセス、イベント・自主事業などの開催案内・結果方向等を情報発信しています。

情報を迅速に発信でき、広報効果も高いホームページは、施設の基本的な情報（施設内容・バリアフリー・アクセス等）や、イベント情報等をわかりやすく提供することが可能です。また、ホームページからのお問い合わせに関しては、速やかに回答するとともに、公園にフィードバックさせていただきます。

今後も、一層の内容の充実を図り、より多くの市民のみなさんに関覧していただけるホームページづくりを行います。

イベント（花植え）
の申込み画面



b) リーフレット・チラシ等の作成・配布

当公園のリーフレットや自主事業のチラシ等を積極的に作成し、できる限り多くの方々にご覧いただけるよう努めます。具体的には、また、当グループが連携する企業・団体等にリーフレットの無料設置を依頼します。

なお、現在、当公園のリーフレット設置場所は、以下のとおりです。今後もまちづくりセンターや町内会等にも働きかけ、設置先を増やせるよう努めます。



丘珠空港緑地パーク
ゴルフ場のチラシ

【リーフレットやチラシを無料設置に協力していただいている企業・団体】

- 北海道銀行（美香保支店、北栄支店、元町支店、札苗支店など）
- 札幌中央信用組合（本店、美香保支店、北支店など）
- 北海道エネルギー（エネオスガソリンスタンド） ■コープさっぽろ
- 札苗商店街振興組合 ■篠路商店街振興組合 など

c) 営業担当の設置

当グループでは、本部に営業担当を設置し、当公園の営業活動を展開しています。営業担当は会社の営業活動との兼務ですが、日常的に多くの企業・団体等を訪問しており、令和4年度は、延べ約260企業・団体・学校等を訪問するなど、当公園の知名度向上や利用促進に一定の成果を上げており、今後も継続します。



なお、営業担当者と直接会話することから、利用者ニーズや生の声を収集する役割も担います。

d) 平日利用の促進

高齢者の利用が多いパークゴルフ場を除けば、一般に、スポーツ施設は、土・日曜日の利用が多く、平日の利用が少ない現状にあります。このため、前項目で記載した営業担当が、土・日曜日が出勤日となる事業所（＝平日に休みがある事業所：ホテル、小売店、遊技場、公共交通機関など）をリストアップして訪問し、当公園の平日利用を呼びかけています。

今後も、平日の稼働率向上が、当公園の利用促進の大きなポイントとなると考えられるため、平日に利用していただける可能性がある職場・団体・町内会などへの積極的な営業活動を展開します。

② 利便性・サービスの向上を図ります。

a) 親切・ていねいな接遇

接遇はサービスの基本です。当グループでは、独自の接遇マニュアルを作成し、研修等で受付職員はもとより、グループ本部社員や清掃・植栽などのスタッフにも周知徹底しています。

この結果、当グループによるアンケートによると、利用者の約91.1%から、接遇に「よい」・「まあよい」とのご回答を得ているほか、新型コロナ以前は札幌市からも「A評価」をいただいています。

今後も、このような高い評価をいただけるよう、これまで以上に親切・ていねいな接遇に努めます。



なお、参考資料として、当公園で活用している「接遇マニュアル」（一部抜粋）を添付しましたので、ご参照いただければ幸いです。

b) 公園内の案内表示の充実

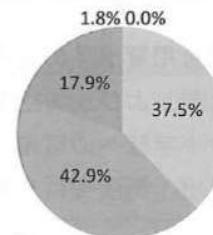
案内表示の充実を図ります。特に、整備が進み、利用者が大幅に増えている丘珠空港緑地の案内表示の充実に重点的に取り組みます。（右の図は、丘珠空港緑地に設置した案内表示の一部）



また、外国人利用者が少しずつ増加していることから、外国語の案内表示についても、引き続き、増やしていきます。

なお、当グループのアンケートによると利用者の80%以上から、「案内表示のわかりやすさ」について、「よい」、「まあよい」とのご回答をいただいております。取り組みを継続することにより、さらに満足度を高めます。

当施設の案内表示のわかりやすさ



■よい ■まあよい ■普通 ■あまりよくない ■よくない

c) ドライミストの設置

近年、札幌市内でも、夏の気温が30℃を超えることは珍しくありません。このため、特に高齢者の利用が多い、丘珠空港緑地パークゴルフ場に猛暑・熱中症対策としてドライミストを設置します。また、利用者が大幅に増えている伏古、美香保公園にも、ドライミストを設置します。

(参考)

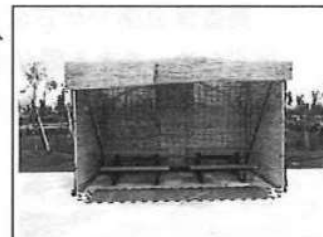
ドライミストは愛知万博ではじめて紹介され、最近、急速に普及が進んでいる装置で、一瞬で蒸発する小さな水滴を出すことにより、周辺部の気温を下げるシステムです。



丘珠空港緑地P G
のドライミスト

d) 日よけの設置

丘珠空港緑地パークゴルフ場には、大きな樹木がなく、日陰がほとんどありません。このため、夏期に日よけを設置します。ドライミスト同様、利用者の評判がよく、数多くの利用があります。



e) 多様な遊具の貸し出し

伏古公園管理事務所で園内で遊べる遊具（道具）の貸し出しを新たに行い、活用していただきます。具体的にはクロスミントン（スピードバドミントン）やモルックといった天候や世代に左右されない遊具や、脳トレとスポーツが同時に出来るといったものを随時取り揃え、利用して頂きます。

スポーツ全般がストレス解消につながっていることを実感できるので、道具のレンタルや公園を継続的に利用していただく効果が期待できます。



f) 遠足児童用貸出品の充実

伏古公園および丘珠空港緑地の遠足利用を増やすため、幼稚園や小学校への営業活動を積極的に行うとともに、以下の貸出・無償提供を実施します。

- | | |
|----------------------|-----------|
| ■ブルーシート | ■シャボン玉セット |
| ■エコ風船（最後は分解され土になる風船） | |



なお、実費を徴収させていただく貸出については、自主事業の項目に記載していますので、72 ページをご参照ください

g) ジョギングコース・ウォーキングコースの設置

伏古公園および丘珠空港緑地にコースを設定し、距離表示等を行っており、年々、ジョギング、ウォーキングを楽しむ方が増えています。コースの設定を継続するとともに、特に、週末の丘珠空港緑地の利用が多くなっているため、「ゆっくり走る（歩く方）は左側に寄ってください」や「追い抜くのは右側からにしてください」のような表示も併せて行います。



丘珠空港緑地での
ノルディック
ウォーキング

h) 樹名板の充実

美香保公園や伏古公園の多種多様の樹木を多くの市民のみなさんに知っていただくため、できる限り多くの樹木に樹名板を順次取り付けます。樹名板は間伐材を利用し、できれば、地元の子どもたちに製作していただきたいと思います。

③ イベント等の充実を図ります。

利用促進のため、イベント等の充実を図ります。なお、参加者に一部費用をご負担いただく事業については、70 ページ以降の自主事業の項目でご説明します。

a) ふれあい動物園（ペットコーナー）

子どもたちに大人気のふれあい動物園（ペットコーナー）を美香保公園において引き続き実施します。これまでと同様、ウサギ5羽、リス2匹、ヤギ2頭、と同程度の動物を確保し、6月中旬から8月下旬まで、子どもたちとふれ合う場を提供します。



なお、新型インフルエンザなどの人獣共通感染症

や口蹄疫などの家畜伝染病予防対策として、利用者に手洗いや消毒マットの上を歩いていただく等の対策を講じます。特に手洗いは、正しい手洗い方法を掲示板により説明し、利用者の安全はもとより、動物の生命も大切にします。



b) ラジオ体操支援

美香保公園ラジオ体操会が実施している毎朝のラジオ体操を引き続き支援します。具体的には、夏休みに実施しているスタンプカードにおいて、賞品を提供します。



c) スノーキャンドルで灯りをともそう

美香保公園の冬の風物詩となっている「スノーキャンドルをともそう」を美香保小学校や町内会などのご協力を得て、引き続き開催します。もともとは「阪神淡路大震災」を偲ぶことを目的に、毎年1月に開催していましたが、「東日本大震災」が発生してしまったことから、3月にも開催するようになりました。今後も年2回開催する予定です。



d) 除雪車体験乗車&安全講習

楽しみながら、子どもたちに冬の事故防止を呼びかける「除雪車体験乗車&安全講習」を東区土木センターなどのご協力を得て、丘珠空港緑地で引き続き開催します。東区のマスコットキャラクターである「タッピー」にも来ていただくと、参加が増える傾向がありますので、できる限りお越しいただけるよう依頼します。

また、産経新聞のインターネット版やYahoo トピックスなどで報道されたため、道外からも問い合わせがあり、全国に情報発信することができました。

幼稚園児の巻き込み事故を防ぎたい 除雪車体験乗車会

産経新聞 9月19日（土）5月19日（土）掲載



「幼稚園児の除雪車体験乗車会」で、除雪作業を体験する幼児と保護者たち。札幌市東区土木センター（左）と、丘珠空港緑地（右）で実施された。

除雪作業は深夜や早朝に行われるため、機械を子どもたちが目にすることはあまりない。

幼稚園の園児たちに、大型除雪車を身近に見てもらい、そのパワーと危険性を実感してもらうのが目的で始まったのが、「幼稚園児の除雪車体験乗車会」だ。主催は、札幌市内の東区保公園、秋吉公園、丘珠空港緑地の指定管理者である「北のふるさとグループ」。冬は市内の除雪作業も行っている。

e) 飛行機ウォッチング

丘珠空港を離着陸する飛行機やヘリコプター等を間近で観察する飛行機ウォッチングを実施します。

具体的には、丘珠空港のご協力を得て、飛行機やヘリコプターが離着陸するだいたいの時間を教えていただきます。この時間を緑地内に掲示するとともに、飛行機などの観察用に双眼鏡を無料で貸し出します。（太陽を直接見ないよう厳重に注意します。）



④ 市民との連携・協働による利用促進を行います。

当グループでは、市民のみなさんとの積極的な協働を行っています。例えば、ボランティア登録制度では、現在、150名を超える方に登録いただいております。植樹、工作教室、スポーツ教室等の分野で市民協働が行われています。今後も一層取り組みが進むよう努めます。

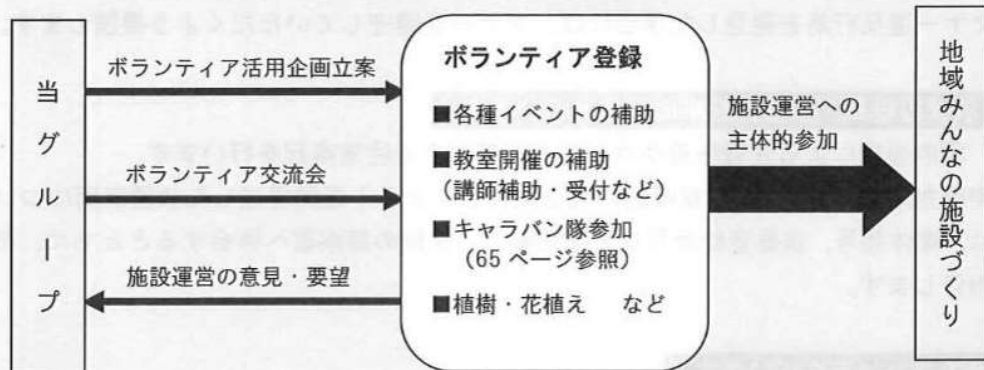


遊具のペンキ塗り

a) 北のふるさとサポーター制度

当グループでは、ボランティア（個人、団体等）を募集し、希望者に可能な業務を登録していただく「北のふるさとサポーター制度」を創設しており、植栽・清掃ボランティアはもとより、工作教室、イベント開催等などで、多くのボランティアに活動していただいております。

ボランティアには、単に業務をお手伝いしていただくだけでなく、ボランティア同士の交流や公園管理運営に対する意見・要望をお伺いすることにより、主体的に管理運営に携わっていただき「自分たちの公園」という意識の醸成に努めることで、利用促進にもつなげます。



b) 障がい者等も参加可能な植樹・花植え

障がい者等にも積極的に公園の管理運営にご参加いただく機会を設けます。植樹や花植えについては、車いす等でも花植えできる花壇やプランターを用意して、障がい者等のボランティア参加を広く呼びかけます。



車いすの方も参加した
伏古公園での花植え

c) 飼育ボランティア

夏期に実施するペットコーナーの飼育ボランティアを募集します。多くの子どもたちに応募していただける人気ボランティアです。動物を身近に感じるとともに、世話をする苦労や命の大切さを学ぶことができます。



(2) マナー啓発に関する業務と実施計画

マナー啓発は、すべての利用者に快適に公園をご利用いただくために不可欠です。当グループでは、犬の放し飼い、放置自転車、ゴミのポイ捨てなどのマナー違反をできる限り少なくするため、以下の取り組みを行います。

① 維持管理水準を大幅に上回る巡視を行います。

日常巡視を強化します。札幌市の維持管理水準では、年間 47 日の巡視を行うこととなっていますが、当グループでは、1 日 1 回以上、繁忙期は 1 日 2 回以上を原則に、年間 210 日（冬季閉鎖期間は毎週 1 回）の巡視を行います。

マナー違反を発見した場合には、明るい声かけを積極的に行ない、マナー遵守を要請します。当グループでは、接遇研修で、「声かけ」についてのトレーニングを実施しており、マナー違反のほとんどは、声かけを行うことにより、その場で解決しています。



また、巡視を行なう職員だけではなく、現場の維持管理・清掃などのスタッフもマナー違反行為を発見した場合には、マナーを遵守していただくよう要請します。

② 放置自動車、放置自転車の対応を行います。

園内巡視による注意指導やホームページによる注意喚起を行います。

実際対応については、注意喚起の札を貼付してから1週間経過した放置車両については、車体番号、盗難登録番号などを記録し、管轄の警察署へ照会するとともに、市へ報告します。

③ 犬のフン対策を行います。

犬のフンは、公園の快適性を著しく低下させるため、重点的なマナー対策が必要だと考えています。当グループでは、ボランティアの協力を得て、伏古公園に「犬のフン片付け箱」を設置しており、以前に比べると、犬のフン放置がかなり減少しています。これを継続するとともに、新たに、美香保公園や丘珠空港緑地にも取り組みを拡大します。

また、巡視、清掃、維持管理などのスタッフには、犬のフン回収用のビニール袋を持たせ、犬のフン対策を行っていない（回収用の袋などを携行していない）飼い主に対し、ビニール袋を配布して、マナー遵守をお願いします。

④ ゴミのポイ捨てを防止します

園内清掃を徹底し、ごみの散乱を抑えるよう努めます。スタッフは全員ゴミ袋を携帯し、巡回や管理作業時に目についたゴミは即座に処理します。目の前のゴミを処理することでさらなるポイ捨てを防止します。



③ ペット絆プロジェクトを発足します。

愛犬と一緒に楽しめる公園を管理運営していきます。大切なペットと過ごす時間と場所を提供します。また、公園を利用する愛犬家の方々に公園でのマナー向上を啓発するイベントを行います。

a) 犬のしつけ教室の開催

飼い主のみなさんのマナー向上につなげるため、犬のしつけ教室を開催します。25年10月に伏古公園で初めて開催しましたが、参加者募集開始後すぐに定員オーバーとなってしまう、美香保公園で追加教室を開催しました。

犬のしつけに関心を持っている飼い主が想定以上にいることがわかったので、6年度以降も定期的に開催します。



b) マナー向上キャラバン隊の実施

多くのマナー違反は1回お願いすればご理解いただけますが、一部の利用者にはなかなかご理解いただけず、お願いとマナー違反の「いたちごっこ」になっている場合もあります。

このような事態を打開するために、丘珠空港緑地等では、地域住民の方のご協力をいただき、マナー遵守を目的とした「マナー向上キャラバン隊」を結成し、マルミプラスの職員とともに公園内を巡回していただいています。(右の写真は、伏古公園で実施したキャラバン隊)



- キャラバン隊は、当社が作成するマナー違反行為を説明したチラシを配布しながら、マナー向上を呼びかけます。
- 犬のノーリードや糞の放置、また、ゴミの放置・持ち込みも近隣住民の方が行っていることがほとんどなので、地元住民で構成されたキャラバン隊、すなわち近所の目がある状況では、なかなか、マナー違反を犯すことはできません。
- したがって、キャラバン隊に出くわすかもしれないということがマナー違反の抑止効果を生みます。

キャラバン隊の中にご近所さんがいることに驚かれる利用者も少なくなく、一定の抑止効果があるのではないかと考えられることから、今後も定期的の実施します。

5. 利用者サービス等に関する取組

(1) 利用促進計画

利用者サービスを含め、有料公園施設の利用を促進するための基本的な方針、当該方針に基づく具体的な業務計画の実施要領を示してください。また、年度別の実施計画について示して下さい。

有料施設利用促進のための基本方針

- ① 厳しい環境の中、高い目標を掲げます。
- ② 目標を実現するため、質の高いサービスを提供します。
- ③ パークゴルフ場の新たな層の利用拡大を図ります。

① 厳しい環境の中、高い目標を掲げます。

少子高齢化、近隣でのパークゴルフ場の新設など、当公園を取り巻く環境は厳しい状況にあります。このような中で、当グループでは、サービス向上や自主事業の充実、営業活動の積極的展開などにより、利用者数や利用料金収入を増やしてきました。

令和7年4月1日から市料金が改定され物価上昇による可処分所得の減少や高齢化に伴う低価格料金適用者の拡大（64歳まで330円、65歳から230円）等の厳しい環境が続くと想定されますが、当グループでは、高い目標を掲げて、目標達成に全力を尽くします。

スタッフ研修を毎年行い、ホスピタリティ溢れる接客・おもてなしを重視し、利用者との円滑な意思疎通を図ります。また、普段より接遇マニュアルを事務所に常備しておき、接遇マナーに関する知識の向上に努めます。

子どもから高齢者まで、また地域の方から遠方から来られる方々全員が快適に過ごせ、再度足を運びたいような公園管理運営を行い、施設の利用促進に努めます。

【利用料金収入の目標】

【単位：千円】

	R4実績	R6目標	R7目標	R8目標	R9目標	R10目標
丘珠空港 緑地	4,574	4,777	4,996	4,777	4,777	4,777
美香保	2,379	2,399	2,862	2,399	2,399	2,399
伏古	3,149	3,329	3,542	3,329	3,329	3,329
合計	11,102	10,505	11,400	10,505	10,505	10,505

② 目標を達成するため、質の高いサービスを提供します。

a) 午後券・ポイントカードなどによるサービス

丘珠空港緑地パークゴルフ場の利用者のニーズに応じた午後券・ポイントカード等のサービスを以下のとおり実施します。

- 午後券の販売
- 他施設（札幌市公園緑化協会が管理運営している施設）でも使える共通回数券の販売
- 20回の利用で1回無料となるポイントカード（札幌市公園緑化協会が管理運営している施設と共通）

【参考：共通回数券・ポイントカードが利用できる他施設】

- ① 丘珠空港緑地パークゴルフ場 ② 前田森林公園パークゴルフ場
- ③ 山口緑地パークゴルフ場（山口東パークゴルフ場、山口西パークゴルフ場）
- ④ 豊平川緑地パークゴルフ場（南7条コース、南大橋コース）
- ⑤ 川下公園パークゴルフ場 ⑥ 月寒公園パークゴルフ場

b) 健康コーナーの設置

丘珠空港緑地パークゴルフ場のクラブハウス内に健康コーナーを引き続き設置します。具体的には、体組成計および血圧計を設置し、利用者に体重、体脂肪、血圧を気軽に計測していただきます。また、希望される方に健康手帳を無料で配布し、継続的にこれらデータが記録できるようにします。

c) 健康宣言の受付

毎年4月と5月に、パークゴルフ場利用者の希望する方から、健康に対する数値目標（「体重2キロ減量」「最高血圧140mmHg」など）を募集します。同年の10月中旬に職員が目標達成していることを確認すれば、丘珠空港緑地パークゴルフ場の無料利用券をプレゼントします。利用者に目標を持っていただくことで、効果的な健康増進につなげます。

d) ガーデニング相談

マルミプラスは、大通花壇コンクールにおいて、高いレベルの花苗技術やデザインなどが評価され、これまで、何度も「市長賞」を受賞しております（右の写真は、市長賞をいただいた作品）。この技術・ノウハウを活かし、市民のみなさんを対象としたガーデニング相談を随時、行います。



e) 記録計測会

丘珠空港緑地の園路を活用し、ジョギングの記録会を開催します。具体的には、記録会の日・時間帯を設定し（毎月1回、4時間程度）、設定日・時間内であれば、当公園職員に申告して、いつでもスタートできます。当公園職員が2キロコース、5キロコースのタイム測定し、その場で記録証を交付します。

開催日ごとのベスト10のタイム・名前（名前は本人の了解が得られた場合に限り）を当公園ホームページで公開するとともに、「ベストタイム賞」、「最多参加賞」、「タイム更新賞」などを設け、年1回、表彰と粗品進呈を行います。

f) 障がい者ウォーキングデーの設定

丘珠空港緑地の園路は利用が増えており、障がい者が気軽に楽しみにくい状況になりつつあります。このため、障がい者が優先してウォーキングできる日を定期的設定します。一般の方も、この日は、特に、障がい者の利用が最優先であることを理解した上で、ご利用いただきます。

g) 北のふるさと杯の開催

多くの方に参加していただいているパークゴルフコンペ「北のふるさとと杯」（写真）を引き続き開催します。



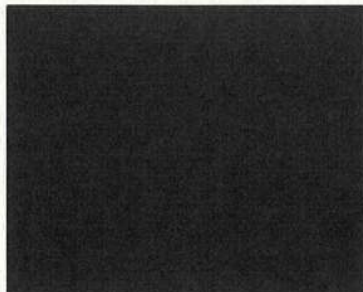
h) たい肥の無料配布

落ち葉や枯れ枝等をたい肥化し、市民のみなさんに無料配布します。

③ パークゴルフ場の新たな層の利用拡大を図ります。

一般にパークゴルフ場の利用者は、高齢者層に偏っており、このままでは、中長期的に見て、利用者数の減少が避けられません。当グループは札幌市公園緑化協会が管理するパークゴルフ場と共通のポイントカードを利用できる取り組みを行っているため、多くのユーザーにお越しいただいております。また当グループの代表企業であるマルミプラスは中島公園の管理区域である「豊平川緑地パークゴルフ場」、前田森林公園の管理である「山口西パークゴルフ場」の整備も委託されています。

このため、他の公園のパークゴルフ場の管理ノウハウを生かすことや情報交換を行い、施設を常に良好な状態に保つよう維持管理することができます。また、施設間のネットワーク化を図り、新たなサービスを立ち上げ、利用者に対する魅力の向上に努め、新規利用者の誘致に繋がります。



国際交流 PG 大会の様子

a) 障がい者等に配慮したスロープレー優先デー

パークゴルフはゴルフ同様、後ろの組に配慮して、迅速にプレーすることが求められていますが、障がい者や高齢者の中には、このマナーが足かせとなり、パークゴルフ場がご利用できない方もいらっしゃると思われれます。

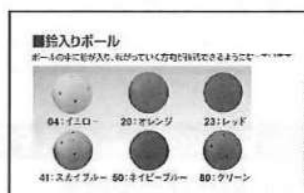
そこで、当グループでは、特定の時間帯（例えば、水曜日の午後など）に限り、時間を気にしなくてもよい「スロープレー優先タイム」を設けます。なお、この時間帯でも一般の方のご利用は可能ですが、前の組のプレーが遅いことを十分納得した上で、利用していただきます。



b) 障がい者が参加可能なパークゴルフ大会

障がい者が参加可能なパークゴルフ大会を開催します。具体的には、公益財団法人札幌市身体障害者福祉協会等の協力を得て、障がい者に参加を呼びかける予定です。

（右図は視覚障がい者用が使用する鈴入りボール）



c) 国際交流パークゴルフ大会

札幌市にもたくさんの外国人が住んでおり、公園はもとより、パークゴルフ場もぜひ利用していただきたいと思います。このため、これまでも国際交流パークゴルフ大会を開催し、外国人の方の利用のきっかけづくりに努めて参りました。

この結果、例えば、JICA（国際協力機構）の水道事業で研修中の外国人などに、パークゴルフ場の利用者になっていただくことができました。今後も大会を継続し、さらに外国人の利用拡大努めます。

d) 職場内パークゴルフの誘致

最近では、以前に比べると、職場内でのレクリエーションやコミュニケーションが復活しつつあります。このため、職場でのレクリエーションの一環として丘珠空港緑地パークゴルフ場を利用いただけるような営業活動を展開します。具体的には

- 土日曜日の午前中にパークゴルフを楽しむ、周辺飲食店で昼食を楽しむコース
- 土曜日の午後にパークゴルフを楽しむ、周辺飲食店で夕食を楽しむコース

などを設定し、飲食店には、飲食代金の割引などでご協力いただきます。当グループは、これをPRするチラシを作成し、周辺事業所等にPRを行います。

(2) 自主事業への取組

利用者サービスの向上に向けた自主事業の取組について、取組の基本的な考え方と取組の具体的な内容を示してください。

自主事業は市民のみなさんに当公園に親しみを持っていただくために実施する事業だと考えています。当グループでは、当公園の設置目的や特徴などを踏まえ、以下の4つの柱で自主事業を展開します。

- ① 東区の豊かな自然を満喫する事業を実施します。
- ② 市民のみなさんの健康づくりをお手伝いする事業を実施します。
- ③ 市民のみなさん同士の交流を促進する実施します。
- ④ 利用者の利便性を高める事業を実施します。

① 東区の豊かな自然を満喫する事業を実施します。

a) 間伐材活用教室

伏古公園や美香保公園で出る間伐材で、まず、「まき割り」を体験した後、「人形づくり」や「樹名板づくり」などの工作を行います。

b) 落ち葉プール

公園内の落ち葉でプールをつくります。落ち葉の有効利用にもつながります。子どもたちはもちろん、大人も結構楽しめます。

プール開設中は、警備を実施し、利用者の安全を確保します。(参加費は無料ですが、虫などに刺される可能性があるため、傷害保険料を徴収したいと考えています。)



c) 花のチャリティマーケット

丘珠空港緑地内で花のチャリティマーケットを開催します。近隣住民のはじめとする多くの方にお越しいただき、収益金は札幌市都市緑化基金に寄附させていただいています。引き続き開催し、札幌市の緑化に少しでも貢献させていただきます。



d) ちびっこ農園(新規)

伏古公園管理事務所敷地内の空きスペースを活用し、近隣の子供たちを中心に農園を作ります。また、近くに貸農園があるのでその利用者から応援を募り、子どもたちの畑づくりのサポートをして頂きます。野菜を育てることを通じて、世代間交流の場所を提供します。



② 市民のみなさんの健康づくりをお手伝いする事業を実施します。

a) かけっこ教室

運動会の徒競走で速く走るための講座です。平成 24 年度に新規事業として、伏古公園で実施しましたが、募集開始後、すぐに定員オーバーとなり、美香保公園で追加開催しました。

その後も毎年、伏古公園、美香保公園で実施していますが、豊平区や南区からも参加申込みがあるほどの人気教室になりましたので、今後も継続実施します。

b) ノルディックウォーキング教室

ノルディックウォーキングは、スキーのストックに似たポールを持って歩く競技で、消費カロリーが通常のウォーキングより高く、しかも腰や膝への負担が少ないので、急速に普及しています。

このため、平成 25 年度に丘珠空港緑地の新規事業としてノルディックウォーキング教室を開催しましたが、20 代から 70 代まで幅広い年代の方に参加いただき、教室終了後も丘珠空港緑地でノルディックウォーキングを楽しんでいたなど利用促進にもつながっています。このため、今後も引き続き開催します。



c) 丘珠空港緑地ミニマラソン

整備が完了した丘珠空港緑地の園路を活用し、ミニマラソン大会（2キロの部、5キロの部）を開催します。屯田アスレチッククラブの協力を得て実施します。

d) 子どもスポーツ教室（新規）

前述のかけっこ教室は運動会の徒競走に向けた内容のものでしたが、徒競走に限らず様々なスポーツや運動に対して教室を開催します。かけっこ教室でも講師を行って頂いているリーフラス(株)や長谷川体育施設の協力のもと、鉄棒教室やダンス教室、親子で参加の体操教室等を予定しております。



e) シニアほほえみ講座（新規）

上記のスポーツ教室をシニア世代に向けて開催します。はげしく身体を動かすものではなく、ヨガ等の有酸素運動を中心とした健康教室を予定しております。

③ 市民のみなさん同士の交流を深める事業を実施します。

a) ストラックアウトコンテスト

伏古公園野球場などにおいて、ストラックアウトコンテストを実施します。市民同士の交流につながるとともに、野球場の利用をPRすることができます。

b) パークゴルフ大会（北のふるさと杯）

丘珠空港緑地パークゴルフ場の利用者同士の親睦、健康増進、利用促進を目的として年2回「北のふるさと杯」を実施しております。指定管理者にご指名頂いた当初から継続して開催している自主事業で、その参加人数は80名を超える場合もあります。今後も引き続き、利用者が楽しみながら参加できる大会を開催します。

c) 工作教室

子どもたちの夏休みの宿題をお手伝いする工作教室を開催します。

平成24年度に新規自主事業として開催してから現在まで、大変人気のある事業となり多くの人にご参加頂きました。また、青少年科学館や木工所等のご協力をいただき、毎回様々なテーマで実施しております。

評判も高く、参加者もコンスタントにあることから、春や秋を中心に引き続き、ミニ工作教室を開催します。

（右の写真は「ミニクリスマスツリーづくり」。参加者多数のため、近隣児童会館を借りて実施しました。）



d) 歩くスキー講習会

歩くスキーは、わざわざスキー場にまで行かなくともできることから、運動不足になりがちな冬期に気軽に取り組めるスポーツです。

道内でも、最近普及しており、安全で運動効果が高い歩き方を学ぶ講習会を冬期の丘珠空港緑地園路を活用して開催します。

④ 利用者の利便性を高める事業を実施します。

a) 各種レンタルの実施

当グループでは、施設の利便性を高めるため、以下のレンタルを行なっています。これらについては、多くのお客様に広く定着していますので、継続実施します。

【用具等レンタル事業一覧】

用具名	概要など
スピードガン	■野球・テニス等兼用のスピードガン貸出 ■スピードガンコンテストにも活用
野球・ソフトボール用ベース キャッチャー用マスク	■特別な用具がなくても野球場が利用できるようにするために貸出
ボール（野球・ソフト・テニス）	■利用者が忘れてきた場合などに貸出
パークゴルフクラブ・ボール	■用具なしでもパークゴルフを楽しめるようにするために貸出
整備用具	■利用後に整備をしていただくため無料で貸出

b) 福祉施設と連携した軽食等の販売

利用者の利便性を高めるとともに、障がい者支援にもつなげるため、丘珠空港緑地パークゴルフ場において、障がい者就労支援施設等の商品（パンなどの軽食、ハンカチ、キーホルダー等）を販売しています（右の写真）。少しずつ、売上も増えてきており、利用者にも定着しているので今後も継続します。



なお、この業務のうち、ハンカチ等については、受託販売で手数料をいただいておりますが、パンなどの食品については、買取販売を行っており、障がい者就労者支援施設等でなく、当グループが売れ残りのリスクを負担しています。雨天日などは大量に売れ残る日もありますが、ハンカチ等でいただいた手数料を充当し、それでも赤字が出る場合は、当グループ内の構成企業の経費で対応しています。

c) 自動販売機の設置

施設の利便性を高める事業として、飲料の自動販売機の設置を希望します。現行の設置場所を継続することを基本とし、更新期に災害対応型やユニバーサルデザイン対応型（右図）の自動販売機に切り替えていくことを原則とします。



また、札幌ICカード協議会が発行している「SAPICA」（サピカ）で支払いが可能なタイプを順次導入して参ります。

d) 移動販売車の誘致（検討）

公園のスペースを活用し、公園利用者の利便性や魅力の向上に繋がる取り組みとしてキッチンカーなどの移動販売車を手配します。

公園は人が集まりやすい場所なので出店場所として大変人気があります。

東区はもとより、市内を中心に活動している移動販売車業者に積極的に声掛けを行い年間を通して営業できる業者を選定します。



また、販売車業者にはInstagramやX（Twitter）

等のSNSを活用していただき「●●日に○○公園で出店します」等の投稿を写真と一緒にしてもらうことで、違う角度からの宣伝効果も期待することが出来ます。

⑤ その他、行政の代行者として、地域に貢献する取り組みを行います。

a) 東区の「あいさつ・声かけ運動」への協力

東区では、「あいさつ・声かけ」を通して、地域住民のみなさんがお互いに支えあい、見守りあうことができるような、より一層「安心で安全に暮らせるまち」を目指した運動を展開しています。

このような取り組みは、地域にとって重要であり、また、当公園の「安全・安心」にもつながることから、当グループも、運動協力員に登録させていただき、公園内外で積極的にあいさつ・声かけを行なっています。今後も運動協力員として、これまで以上にあいさつ・声かけに取り組めます。



b) 札幌スマイルパートナーズへの協力

札幌市では「魅力都市さっぽろシティプロモート戦略」を策定し、「笑顔になれる街」というテーマのもと、市民や企業と連携して来訪者の温かい迎え入れによる交流集客人口の増加に取り組んでいます。

当グループも、特に、丘珠空港緑地が石狩市、小樽市等と比較的近く、公園やパークゴルフ場の利用もあることから、会員登録させていただき、活動に携わっています。今後も、会員として、来訪者の温かい迎え入れにこれまで以上に取り組みます。



c) 認知症サポーターへの登録

認知症の方は「決して何もできない」わけではなく、周囲の人々が少し手助けするだけで、数多くのことができますし、また、自ら行動することで、症状の進行を抑える効果が期待できます

当グループでは、認知症の方にもできる限り公園にお越しいただきたいと考えており、できる限り多くの職員が、講座を受講し、認知症サポーターになっています。

(3) 当該公園の課題把握及び理想像の実現

公園の課題及び懸案事項に対する公園の理想像を記載した上で、理想像の実現に向けた自主事業等の取り組みについて具体的な内容を示してください。(取り組み内容は(2)と重複可)

① 当公園の魅力・特性

a) 美香保公園

札幌市の都市計画第1号の公園です。園内には、戦前の高射砲台の跡が残っており(右の写真)、歴史を感じることができます。



場所的には東区の住宅街に位置しながら、イチイ、トウヒ、モンタナマツ、イチヨウ、サクラ(右の写真)、シタレヤナギ、ポプラ、フジ、ボタンなどの豊かな緑に恵まれた、市民の身近なオアシスとなっています。



また、遊具が充実しており、芝生もあることから、子育てやペットの散歩場所としても活用されているほか、テニスや野球などを通しての健康づくりとしても、高い魅力を持つ公園です。